

パ行音の歴史

パ行音で始まる語は、そのほとんどがパイナップル、プードル、ペンのような外来語か、でなければ、パリパリ、ピシッと、ポキポキなどの擬音語・擬態語（オノマトペア）に限られる。どうしてこのような片寄った現れ方をするのだろうか。例えば、英語や中国語などの外国語ではpで始まる語はふつうに存在する。これに対して、日本語のパ行音pは一人前の音ではないように見える。

この問題を解くカギはハ行音が握っており、謎を明らかにするためには日本語の歴史をたどる必要がある。江戸時代の初めまでさかのぼると、今日と少し違う日本語の様子も見えてくる。

この時間では、今日のパ行音がどのようにして出来上がったのか、古代からの日本語の変化をたどりつつ明らかにする。

令和
七年

9月27日(土) 14:00~16:00

主催 東北学院大学 英語英文学研究所

※30分前受付開始

講師

高山 知明 氏 (金沢大学 人間社会研究域 人文学系 教授)

対象者

どなたでもご参加いただけます

参加費

無料

定員

100名

会場

東北学院大学

土樋キャンパス ホーイ記念館H301教室

申込

申込フォーム(QRコード)またはメールにてお申込みください。

なお、定員に達した時点で申込みを終了させていただきます。

メールでお申込みの場合は、件名を「英語英文学研究所 公開講座 申込」とし、

①「氏名(フリガナ)」と②「電話番号」の2点を、申込み先のEメールアドレスまでお送りください。

事前申込締切は9月25日(木) 17:00までです。



申込フォーム ▲

お問合せ 東北学院大学研究支援課 TEL 022-264-6401 E-mail c1511023@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

※開催方法が変更となる可能性がございます。最新情報については、本学HPをご確認ください。



東北学院大学 公開講座